

# 兵庫BSにキッズクラブ

## 3選手が野球の楽しさ伝える

三田市を本拠地とする野球・独立リーグの「兵庫ブルーサンダーズ」(兵庫BS)が、3〜8歳の子どもを対象とした「ブルサンキッズクラブえがお」を設立した。屋外で体を動かしながら野球の楽しさを伝える企画で、同球団の3選手が子どもたちの指導に当たる。イベントは、9月までの間に計5回、アメニスキッピースタジアム(同市三輪)や中央公園(同市けやき台)などで開かれる。各回約1時間で、かけっこやキャッチボール、ボールを的に当てるゲー



ムなどをする。指導するのは矢田楓(外野手(19))と林泰成(捕手(17))、森颯馬外

野手(19)。3人とも子どもが好きといい、矢田選手は「少年野球をしていたとき、チームの監督に教わりながら体を動かすと、自然と上達していくのがうれしかった。そんなわくわくするような楽しさを、小さい子どもたちにも知ってもらいたい」と話している。募集人数は30人。入会金は1000円。会費は参加1回につき500円。問い合わせは兵庫BS TEL079(556)5702(月〜金曜までの午前10時〜午後5時)。子どもたちを指導する(右から)矢田楓選手、林泰成選手、森颯馬選手(三田市三輪・アメニスキッピースタジアムで)